

1-1 北海道とその周辺の最近の地震活動 (1990年6月～11月)

Recent Seismic Activity in and around Hokkaido (June – November, 1990)

北海道大学 理学部

Faculty of Science, Hokkaido University

この期間の浅発地震の震央分布を第1図に示す。北海道内陸および日本海の浅い地震活動が活発であった。

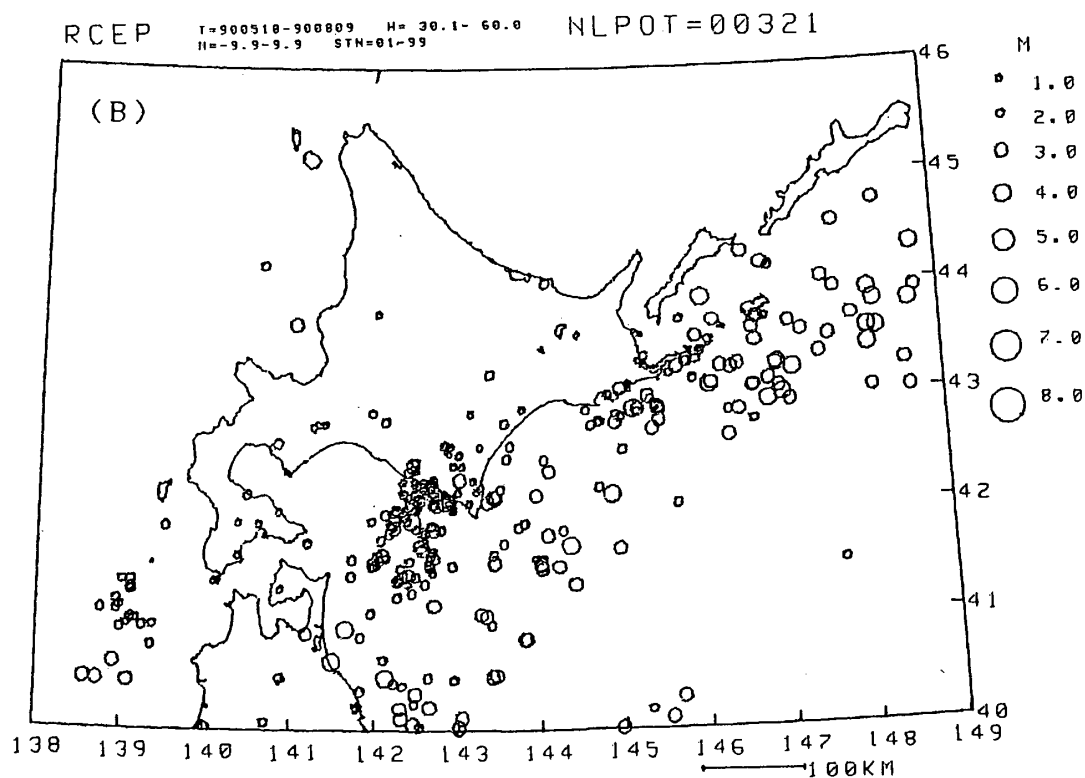
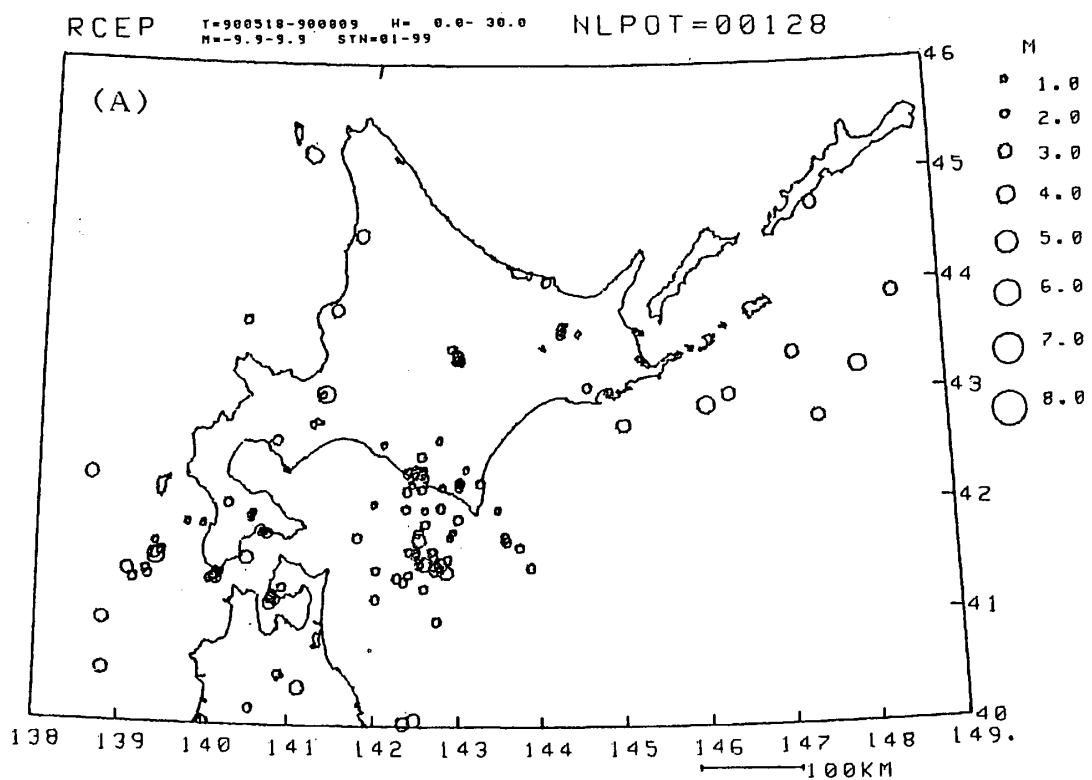
8月6日12時05分に札幌で震度Ⅰの浅発地震(M3.6)が発生した。この地震には1個の前震(6日07時39分, M1.0)と4個の余震(最大は7日19時28分M2.0)が観測された。札幌周辺の浅発地震活動は1985年から88年前半にかけて活発であり、その後地震の少ない状態が続いていた(第2図)。今回の地震が次の活動期の始まりかもしれないので今後の推移を監視する必要がある。

11月9日から空知支庁北部でM4.6を最大地震とする顕著な群発地震が発生した¹⁾。この活動がまだ続いている11月13日には日本海北部でM6.1の浅発地震が発生した²⁾。さらに、11月17日から19日にかけて青森県東方沖で前震・本震(M5.0)・余震型の地震活動が発生した(第3図)。これらの活動は11月に入って広域的に浅発地震活動が活発化したことを示している。ただし、北海道内の火山活動には異常はなく、千島海溝に関連する地震活動は静穏なまま経過している。

(本谷義信)

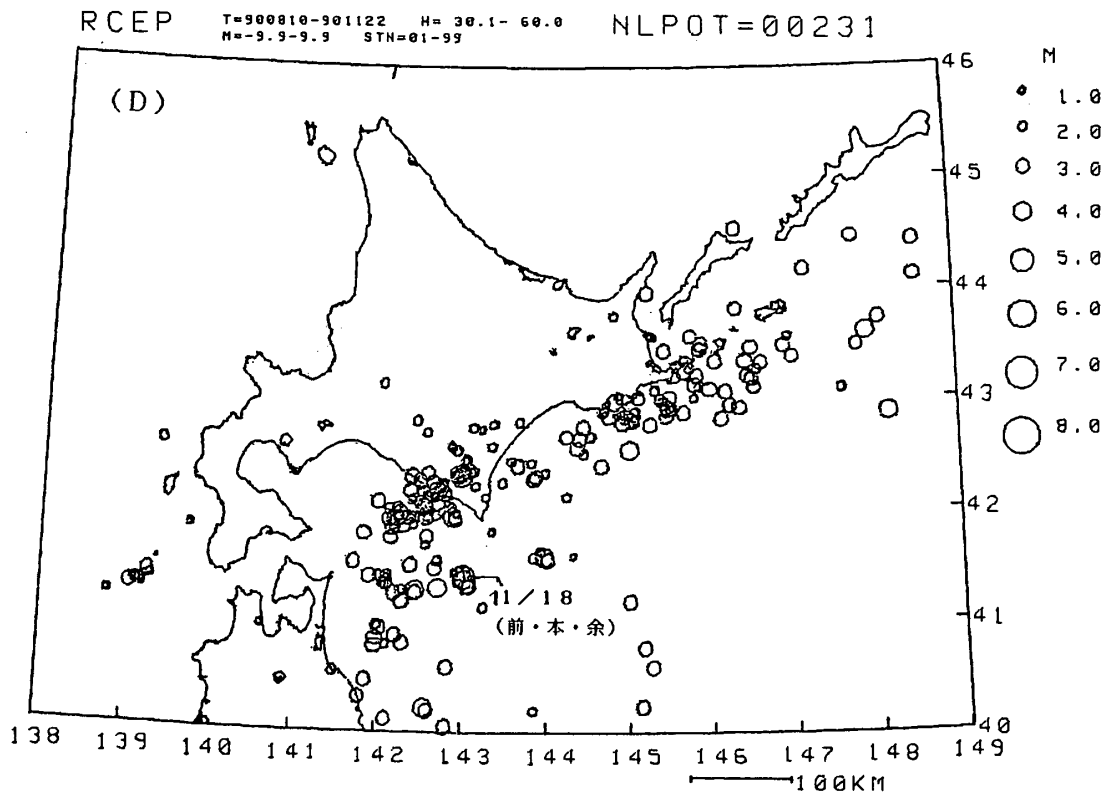
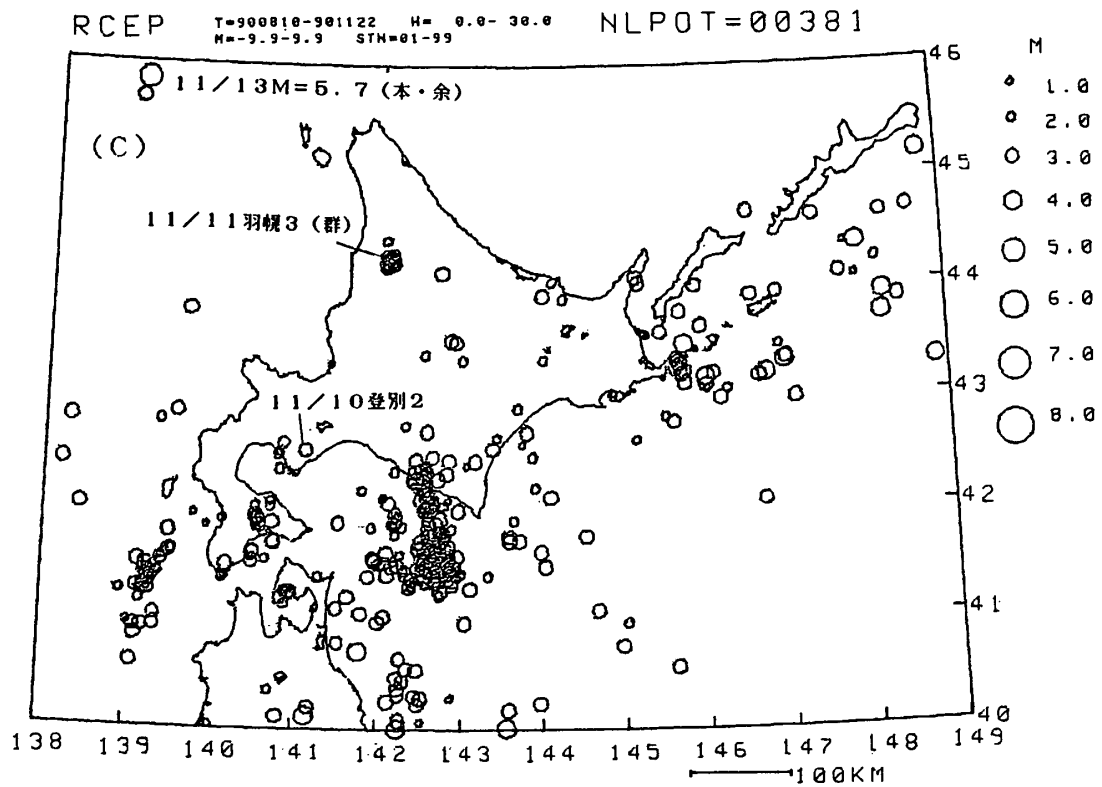
参 考 文 献

- 1) 北大理学部：1990年11月北空知地方の群発地震と北海道北部浅発地震帯，連絡会報，45(1991)，6-10.
- 2) 北大理学部：1990年11月13日の日本海北部の浅発地震(M6.1)，連絡会報，45(1991)，11-16.



第1図 北海道とその周辺の浅発地震の震央分布。1990年5月18日～
8月9日、(A)深さ $h \leq 30$ km, (B) $30 < h \leq 60$ km

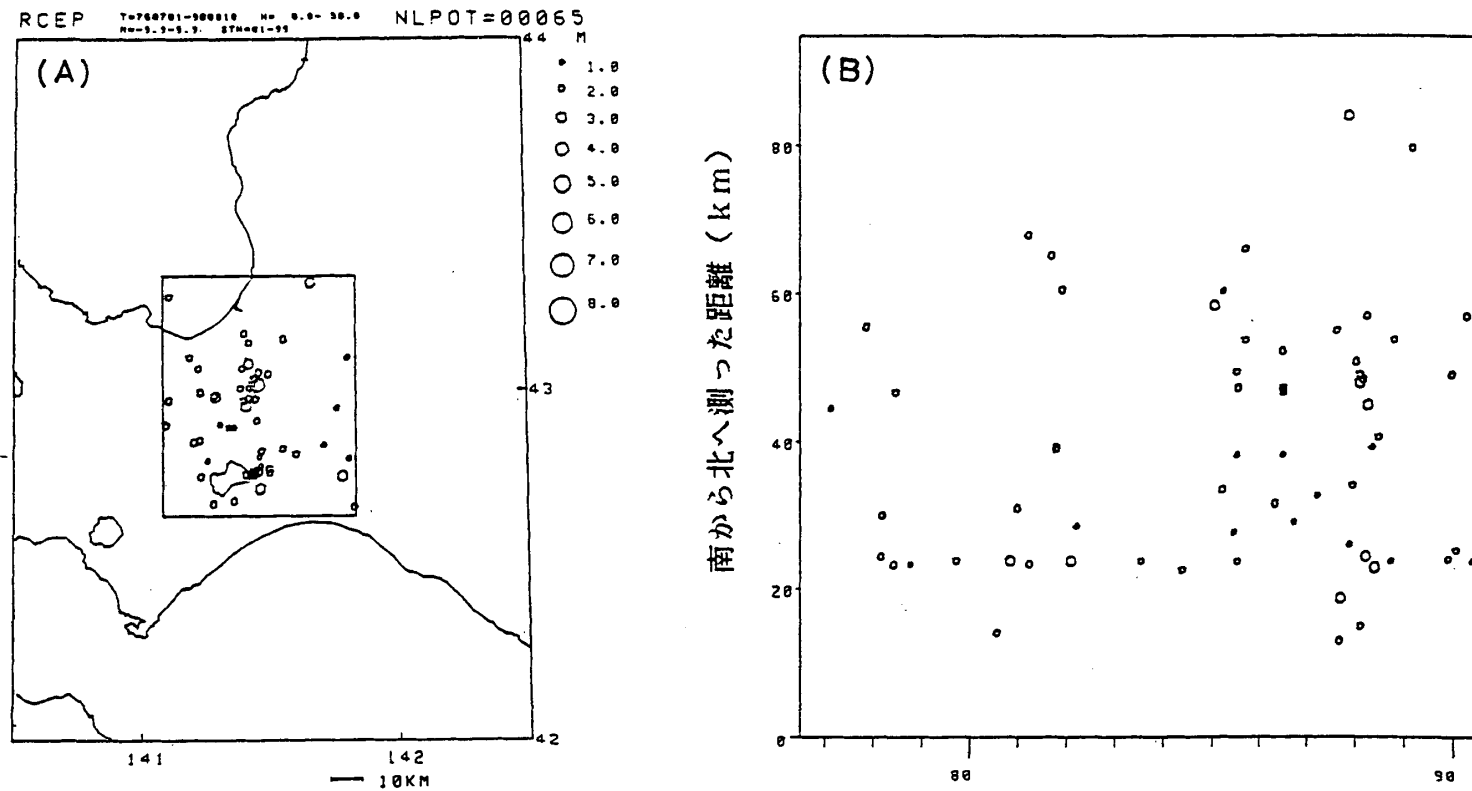
Fig. 1 Epicenter distribution of earthquakes in and around Hokkaido. May 18 – August 9, 1990.
(A) Focal depth $h \leq 30$ km (B) $30 < h \leq 60$ km.



第1図 (つづき) 1990年8月10日~11月22日, (C)深さ $h \leq 30$ km, (D) $30 < h \leq 60$ km

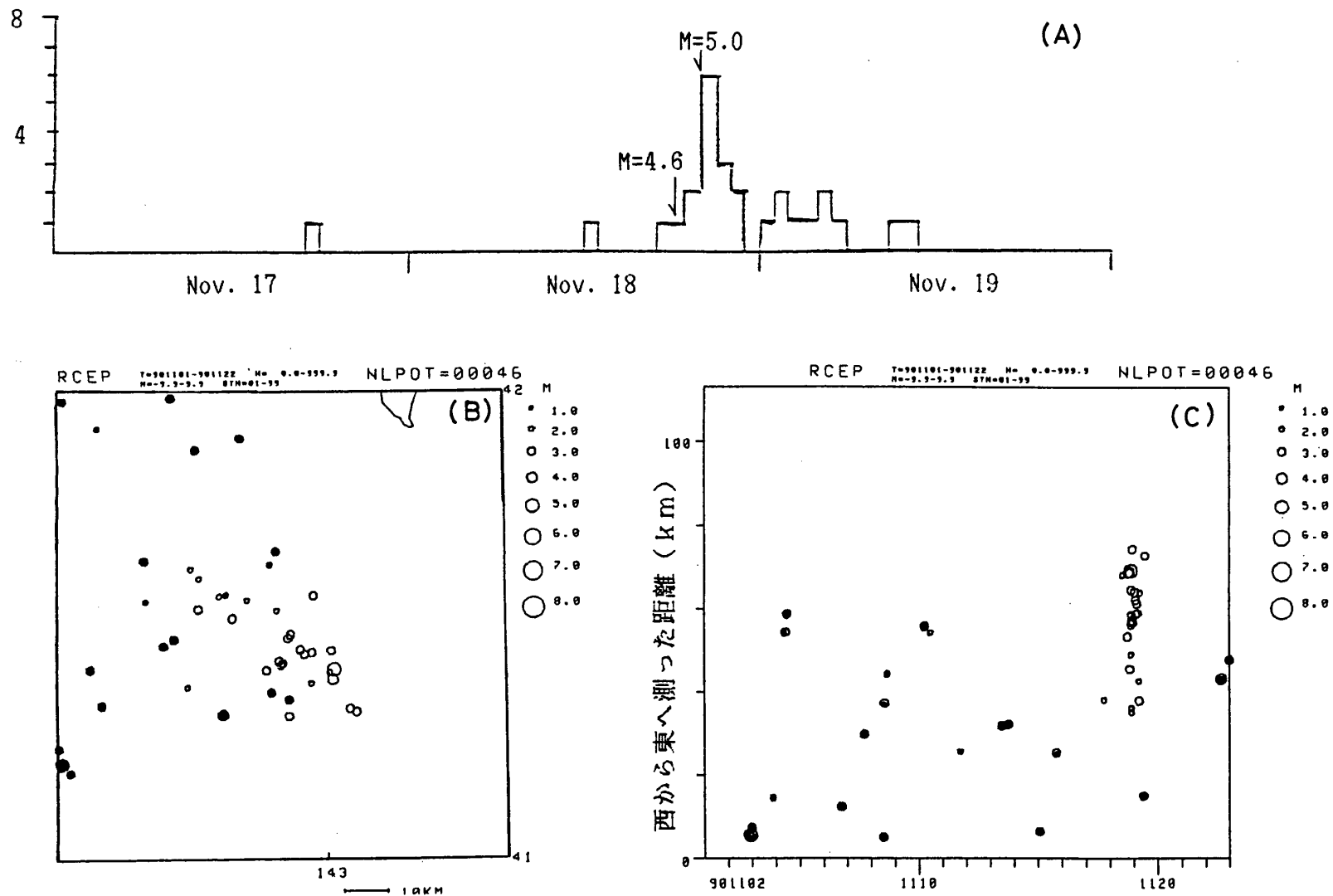
Fig. 1 (Continued) August 10 – November 22, 1990.
(C) $h \leq 30$ km (D) $30 < h \leq 60$ km.

札幌周辺の地震（1976. 7－1990. 8, $h \leq 50$ km）



第2図 (A)震央分布 (B)時空間分布

Fig. 2 Seismic Activity around Sapporo. (A) Epicenter distribution
(B) Space (measured from south to north in (A)) – time plot.



第3図 1990年11月1日～22日の青森県東方沖の地震活動，(A)時間当り地震回数，(B)震央分布，白丸は17～19日，黒丸はそれ以外の期間，(C)時空間分布。

Fig. 3 (A) Hourly number of earthquakes. (B) Epicenter distribution from 1 – 22, November, 1990. (Open: 17 – 19, November, Solid: otherwise). (C) Space (measured from west to east in (A)) – time plot.